

センター活動登録団体レポート

アプローチ

富山県男女共同参画推進員経験者が集い、経験を活かした活動を自主的に進めたいと考え、設立した会です。愉快的仲間と楽しく活動しながら、地域に普及啓発することを目的とし、少しずつネットワークを広げていきたいと思っています。

ふあん・ふあしい・café

多様な価値観、環境を持つ人どうしで、個々を認め、互いの良さを持ち寄り、共に向かうことができるようコミュニケーション、ファシリテーションスキルの学び場と繋がりを作ります。話す☆学ぶ☆繋がる！

富山県男女共同参画推進員 高岡連絡会

高岡市の26小学校区より男女1名ずつ推薦され、様々な社会問題が人権・差別に基づくものであるとの認識を持ち、解決のための考え方として「男女平等・共同参画」が重要であることを地域で広めています。

カーテンコール（高岡演劇鑑賞会）

年6回、昼夜いずれか高岡の会場で演劇を鑑賞する。会員制。公演は、人間の生き方をテーマに、平和、人権、男女問題等々、男女平等を推進する面での話題は豊富。芝居を楽しみながら活動しています。

平成31年度 話スペース「ほこ あ ほこ」開催

女性ならどなたでも参加できます。女性どうし、ゆったりと安心して話ができる場所です。（申込不要）
 ☆日 時☆ 毎月第4金曜日 19:00～20:30
 ☆場 所☆ 男女平等推進センター会議室
 4/26、5/24、6/28、7/26、8/23、
 9/27、10/25、11/22、12/20、
 1/24、2/28、3/27（※12月は第3金曜日）

男女平等推進フラン情報誌「ありて」18号発行

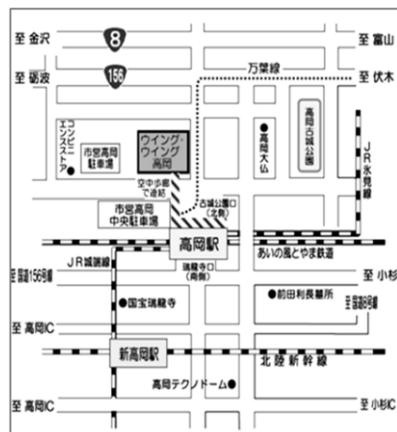
- ◆特集 女性防災士・企業主導型保育所「高岡オフィスパーク」なのはな保育園インタビュー
- ◆高岡市の男女平等・共同参画推進の取り組み
- ◆セピア色の写真から／山達 雅美さん
- ◆活動登録団体紹介／クローバー会、富山CAP

相談室（配偶者暴力相談支援センター）

専任相談員が、DVや生き方、夫婦の問題等色々な相談を受けています。
 ※面接相談は要予約
 相談時間 月・火・水・金 9:30～16:30
 木 14:00～20:00
 休業日 土曜・日曜・祝日・毎月第4月曜・年末年始
 相談室専用電話 (0766) 20-1811

高岡市男女平等推進センター

休館日 毎月第4月曜日、12月29日～翌年1月3日
 所在地 〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7(ウイング・ウイング高岡6階)
 問合せ TEL:(0766)20-1810 FAX:(0766)20-1815
 E-mail: gec@city.takaoka.lg.jp
 HP: <http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html>



高岡市男女平等推進センター開館15周年

ありて mate

高岡市男女平等推進センターだより

2019, 4, 1 No.80



地域の環境づくりに貢献できる人材

富山国際大学子ども育成学部
 学部長 辻井 満雄 さん

私が所属する富山国際大学子ども育成学部では、「共存・共生の精神」に基づき、人間性・専門性・社会性を身に付けた教育・保育・福祉を担う専門職の育成を目指しています。幅広い教養を身に付け、教育的愛情をもち、教育学、保育学をはじめ、心理学、社会福祉学、健康科学などを学び、多面的・実践的なアプローチができる人材を育てたいと願っています。

しかし、子ども育成をめぐる諸問題は多種多様であり、その解決のためには、人権意識や男女共同参画、子育て支援などを加味した環境づくりが大切です。本学部では、事例を通して色々な見方に触れさせ、討論させ、「自分ならどうするか」を考えさせています。特に、人間性の向上に重きをおき、人権尊重、男女平等、ボランティア精神、思いやりの心の育成のため、地域で多くの人との出会いや多様な体験をすることを推奨しています。授業「ジェンダー論」では、新聞記事から現状の在り方を考えさせることや、学外の専門員による「デートDV」「DV被害者支援」の講義を実施しています。

授業「地域社会参加活動」では、学外での20時間以上ボランティア活動を通して、人との関わり方を考える機会にしています。さらに、授業「富山に学ぶインターンシップ」では、学校や福祉施設等に出向き、働く意義について学ぶとともに、ワーク・ライフ・バランスについても考える機会としています。

私は、「挨拶、汗、前向き」という言葉が好きです。誰にでも笑顔で優しく挨拶をする人は、公平な心が育ち人に愛されます。どんなときも汗する人は、貢献する心が育ち人に信用されます。チャレンジする前向きな人は、よさを見つめる心が育ち人を元気にします。学生が元気になれば、地域が元気になり、関わった人たちが元気になります。この3つの言葉を通して、学部の学生が人権の大切さを学び、地域で貢献できる人材として育つよう努めていきます。

